

2022年11月30日

## BRT ひこぼしライン 7 駅の 待合ブースデザインが決定しました！

JR九州は、2023年夏開業の BRT ひこぼしライン(正式名称:日田彦山線 BRT)の7駅に設置する待合ブースのデザインを、以下の通り決定しました。

駅ごとに木材を活用して地域の特色を表現した待合ブースは、BRT の到着をお待ちいただくお客さまに、温かみのある、やさしい空間を提供します。

デザインは、社内で建築業務を行っている若手社員を中心に構成したチームが担当。1つ1つの駅が、地域のシンボルとして愛され続けるように、想いを込めて作り上げました。

今後も2023年夏開業に向けて、地元自治体様や関係機関様と連携しながら、準備を進めてまいります。

### ★ 待合ブース設置の駅

#### 【添田町】

添田駅、彦山駅

#### 【東峰村】

筑前岩屋駅、大行司駅、宝珠山駅

#### 【日田市】

大鶴駅、今山駅

上記以外の BRT 駅には、添田町、東峰村、日田市をイメージした、BRT ひこぼしラインオリジナルの駅サインを設置し、沿線の一体感を創出します。

### ★ デザイン

#### 添田駅



#### デザインコンセプト:「やまなみ」

BRT ひこぼしラインの起終点となる添田駅では、沿線の豊かな「やまなみ」の曲線を木材で表現します。

長さ・厚さの異なる木材の組合せにより、山々が重なり連なる景色を、リズムカルに描きます。

※添田駅ホームの屋根下に設置を予定しています。

## 彦山駅



デザインコンセプト:「**頭襟(とकिन)**」

三大修験道のひとつである英彦山のふもとである彦山駅では、山伏が頭に付けている「頭襟(とकिन)」を木材で表現します。この印象的なデザインが、地域の歴史や文化を伝えます。

## 筑前岩屋駅



デザインコンセプト:「**めがね橋**」

筑前岩屋駅では、BRT ひこぼしラインのシンボルである「めがね橋」を木材で表現します。地域をつなぐ多連アーチ橋の美しさ、力強さを描きます。

## 大行司駅



デザインコンセプト:「**小石原焼**」

大行司駅では、小石原焼の「とびかな」模様を、木材で表現します。規則的なスリットが、「とびかな」の繊細かつ高度な技術を表します。

## 宝珠山駅



デザインコンセプト:「**さくら**」

宝珠山駅では、美しい桜並木を、木材で表現します。木材に組み合わせる桜色の透過パネルが、桜の花びらを表します。

## 大鶴駅



デザインコンセプト:「酒柘」

大鶴駅では、木材で「酒柘」を表現します。積み上げられた酒柘をイメージしたデザインが、地域の美味しいお酒をアピールします。

## 今山駅



デザインコンセプト:「大肥川・三日月山」

今山駅では、地域の豊かな自然を、木材で表現します。長さ・厚さの異なる木材の組合せにより、大肥川・三日月山の美しい曲線を描きます。

※デザインは全てイメージです。変更となる場合がございます。

### ★ 今後のお知らせ項目

ダイヤ、所要時間、運賃などについては、決定次第お知らせします。